

議会だより

# 東くくら

第155号

令和4年

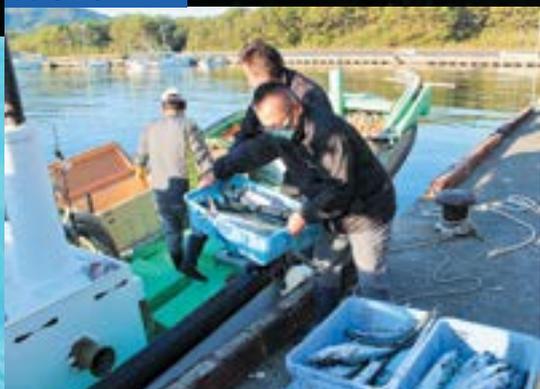
11月10日発行

発行 鹿兒島県東串良町議会  
編集 広報広聴常任委員会  
電話 0994-63-3132(直通)

朝獲れ新鮮！  
柏原漁港のセリ

うお  
魚、いいね！  
いい値！

関連記事 P.24



みどころ

- 3年度決算 コロナ禍の経済立て直しに重点……2～5
- みなさんの声を活かします……16～19

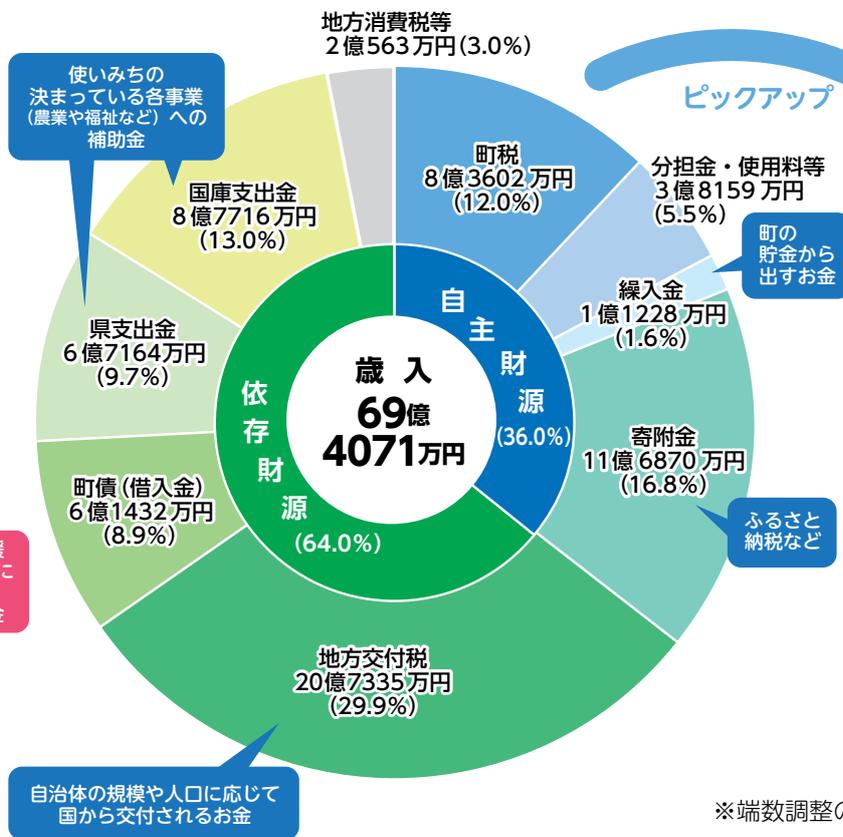
- 一般質問……8～14
- クイズ……23

# 経済立て直しに重点

令和4年第3回定例会は、9月6日から9月22日までの17日間の会期で開きました。

町長から提案された令和3年度一般会計、各特別会計、水道事業会計の決算は、決算審査特別委員会を設置して審査を行い、全ての会計を認定しました。(関連記事P. 2～5)

令和2年度に引き続き3年度も、国からの臨時交付金を活用し、新型コロナウイルスによる社会経済立て直しのため、生活者や事業者への支援が行われました。また、2棟のドームハウスを新設、小・中学校に新しく防災倉庫を建築するなど、観光面の充実や防災面の強化も図られました。



## 町税の内訳

区分	金額
町民税	2億2801万円
個人	1億9991万円
法人	2810万円
固定資産税	5億2971万円
志布志石油備蓄基地分	2億7801万円
軽自動車税	3087万円
種別割	2983万円
環境性能割	104万円
町たばこ税	4741万円

※端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

(表1)

健全化判断比率の区分 (一言で表すと)	早期健全化 基準	令和 3年度
①実質赤字比率 (一般会計の赤字度)	15.0%	- (良好)
②連結実質赤字比率 (全会計の赤字度)	20.0%	- (良好)
③実質公債費比率 (借金割合)	25.0%	7.7% (良好)
④将来負担比率 (財政圧迫度)	350.0%	- (良好)

早期健全化基準以下であれば、東申良町の財政が良好な状態を示しています。また、水道事業会計の資金不足比率はありませんでした。

※数値がマイナスになる場合は、「-」で表示しています。

## 財政は引き続き良好

主な理由は、ふるさと納税寄附金が過去最高額の11億円を突破し、2億5800万円増です。また、志布志石油備蓄基地にかかる固定資産税(国有資産等交付金)は、約39.6万円減となっています。

**自主財源対前年度比  
約2億4234万円増**

# 令和3年度 決算認定

# コロナ禍の



ドームハウス新築工事(2棟) 3530万円



小中学校に防災倉庫新築工事 1838万円



中学校正門側整備・排水路設置工事 6388万円

## 令和3年度水道事業会計決算状況

※1万円未満を切捨てています

	収入決算額	支出決算額
収益的	9532万円	1億 863万円
資本的	0円	4322万円

## 水道事業会計の経営成績

※1万円未満を切捨てています

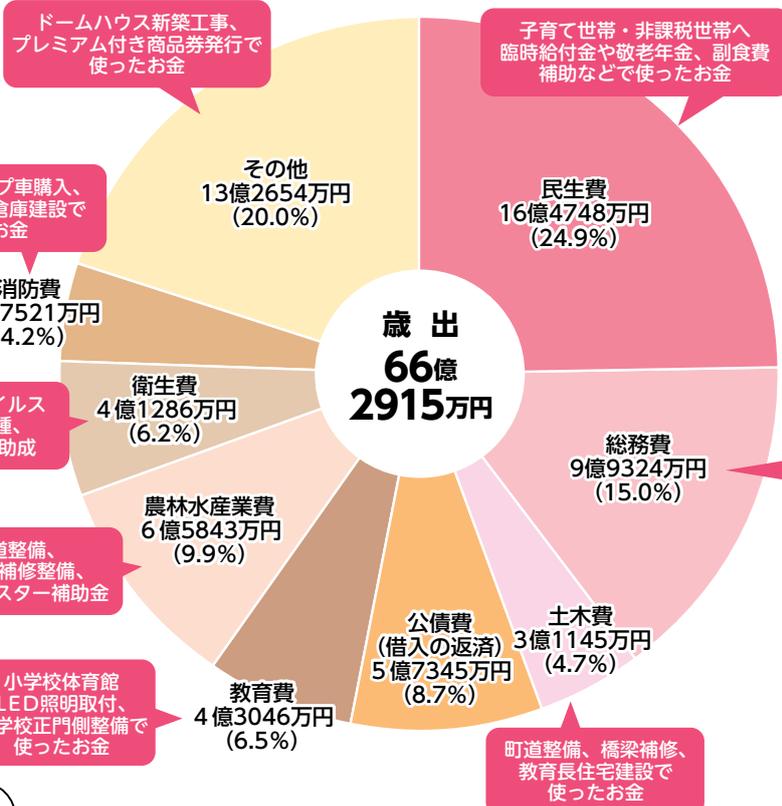
総収益	1億 36万円
総費用	1億1078万円
純損失	1041万円

厳しい経営・赤字となっている。

## 令和3年度特別会計歳入歳出決算状況

※1万円未満を切捨てています

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険特別会計	11億4979万円	10億3680万円
介護保険事業(保険事業勘定)特別会計	9億6897万円	8億8160万円
介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計	612万円	379万円
後期高齢者医療特別会計	1億 750万円	1億 695万円
合計	22億3239万円	20億2915万円
前年度決算額との比較	3%増	微増



**町の借入金と貯金**

令和3年度末現在の一般会計と特別会計の合計です。

▼基金(貯金) 37億3198万円

▼町債(借入金) 58億1842万円



# 過去最高額のふるさと納税など評価 急激な水道料金の値上げを懸念

決算審査特別委員会では、令和3年度の一般会計及び各特別会計、水道事業会計の歳入・歳出について審査しました。

ふるさと納税については過去最多の約1億円と大幅な増額となり評価できるものです。一方、水道事業会計は赤字決算となっており、今後、水道料金の値上げが検討されます。そのため委員会では、大幅な値上げとならないよう提案しました。

## 評価する意見（予算執行・事業効果）

- 財源を見出しながら各種事業が効果的に実施されている。
- 消防自動車などの備品更新は、財産の処分が入札により適正になされている。
- 庁舎の防災拠点機能強化のために雨戸が設置されるなど、災害時の対応が進められている。
- 交差点カーブミラー設置や町道区画線補修などの交通安全対策事業は、町民や議会からの要望が整備に図られている。
- ふるさと納税は、ポータルサイトを増やす工夫をするなどして、増額したことにより、自主財源の確保と地域産業の振興に大きく寄与している。
- 中高生政策アイデアコンテストや東串良町ツーリズム協議会による体験プログラムは、町内外に本町のPRが図られている。
- マイナンバーカードや合併処理浄化槽の普及率向上が図られている。
- 町税等の徴収率が全体的に上がり、また、滞納処分の手続きも取られている。
- 国民健康保険では、レセプト点検の効果が出ている。
- コロナ感染症対策を講じながら、介護予防事業のころばん体操やひらめき体操、認知症総合支援の認知症カフェが実施され、地域で安心して過ごせる活動が図られている。
- 町単独事業の農林漁業振興支援補助金により、農業者等の施設整備や機械導入の支援が図られている。
- 農道や生活道路などの陳情箇所は、補助事業を活用しながら整備が図られている。
- 中学校正門側整備をはじめ、各小学校体育館防災機能強化工事など、小中学校の施設整備は利用しやすい工夫が図られている。

# 町当局に項目の政策を提案

① 消防組合市町負担金の算出方法の見直しについて、構成市町と協議を進め、負担金の公平性に努められたい。

② 本町の安定した行財政運営のために、今後とも地方交付税や国有資産等所在市町村交付金、石油貯蔵施設立地対策等交付金等の制度維持を引き続き政府に強く求められたい。また、石油貯蔵施設立地対策等交付金については、一般財源化への取り組みとして全国石油備蓄協議会等での積極的な要望活動に努められたい。

国への積極的な働きかけに努められたい。

⑤ 町営プールの老朽化に対する施策や柏原地区振興対策などをはじめ、町の施設を建設する時は、計画・立案にも住民の声を反映させる仕組みづくりに努められたい。

⑥ 耕作地内への空き缶、空き瓶の不法投棄を撲滅させる方策を図られたい。

⑦ 松林内のマツケムシ対策として、適期に防除を行うよう対策強化を図られたい。

③ コロナ感染症対策における施策で、非課税世帯への臨時特別給付金は国策として実施されているが、長引くコロナ禍と物価高は家計への影響を与えているので、町単独事業による課税世帯への給付金を検討されたい。

④ 耐用年数30年を経過している志布志石油備蓄基地については、安全性の対策など、

⑩ 農業公社を設置して、I・Uターンの受け入れ体制を確立し、新規就農者や農業後継者の育成に努められたい。

⑪ 水道事業会計は赤字決算となっているが、急激な水道料金値上げにならないように検討されたい。

⑫ 池之原団地については、跡地利用の用途を早急に決定し、町民福祉に貢献する事業を図られたい。

⑬ 再任用職員の人事配置については、職員がこれまで培ってきたノウハウや資質が活かされるように適材適所に配慮されたい。

⑭ 徴収の専門員を配置し、徴収の強化を図るためにも滞納処分を積極的にすすめ、不納欠損の縮減を図り、税の公平性に努められたい。

⑮ 児童生徒の個性を伸ばす指導を工夫しながら、学力・体力向上について、継続的な対策を講じられたい。

⑯ 学校給食の食材は、作り手の顔が見えるような地産地消に努め、一層、食育活動に力を入れられたい。

⑰ 総合的な学習の時間や文化祭などで、芸術活動を行っている町出身者や町にゆかりのある人の活用を図られたい。



住宅として機能していない池之原団地



総合的な学習の時間は、子どもの心を育む

ペーパーレス会議の  
環境を構築



令和5年3月議会からペーパーレス会議の運用が予定されています。今回、ペーパーレス会議に必要なタブレット端末などの導入費や運用費等の予算を決めました。導入後は、タブレット端末で会議資料を配布・閲覧できます。

予算額  
**1284**万円



池之原小学校の  
プールを改修

池之原小学校のプールを改修するための関連予算を決めました。現在、小学校のプールは側溝が落蓋式となっており、フタが固定されておらず、隙間ができて不安定な状態となっています。また、プールサイドにも多数のヒビが入っているため、来年度から安全に使用できるように改修工事が行われます。

予算額  
**1620**万円

ドームハウスの  
建設費の  
単価増

昨年度に引き続き、柏原海岸沿いの松林内にドームハウス2棟の建設を予定しています。令和4年4月1日時点で、使用される資材の単価が上がったため、その値上がり分の追加予算を決めました。

予算額  
**600**万円

質疑

**問** ドームハウスの工事は、まだ契約されていないとのことだが、遅れている理由とは。

**答** 今年2棟、来年2棟の建設があるが、場所の詳細な確定、面積、保安林解除を要する。そこまで含め、今、専門の業者にもお願いし、県へはつきりとした数値を報告できる予定。今月いっぱいには保安林解除をするという方向で協議が進んでおり、その後の発注となる。

発議

消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書

**提出者** 宮地利雄議員  
**意見書の主な内容** インボイスの「凍結」「延期」「見直し」を表明している。この

中小企業団体をはじめ、税理士団体、農業者団体、文化・芸術団体、全国のシルバークンセンターなど多くの団体やフリーランスのグループがい

ことから消費税インボイス制度の中止を求めるもの。  
**提出先** 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、財務大臣

陳情

岩弘中地区の道路整備に関する陳情書



**陳情者代表** 宮園 幸一  
**審査報告** 陳情箇所は、幅員が狭く、また、排水溝がないため雨などで洗い出された石ころなどがあり、このことであちこちがでこぼこしている状態でした。里道沿いに集団墓地があり、入り口の県道側には岩弘中地区の公民館があることから、地区民が日常的によく利用する生活道路であることが伺えました。  
**審議結果** 全会一致で可決

川内原発の20年延長運転期間に関する陳情書

**陳情者** 小蓬原 昭雄  
総務民生常任委員会に付託され、継続審査となりました。

# 臨時会・9月議会

## 議案等に対する議員の賛否状況

**採決**とは、議長が議案等について出席議員に賛否の意思表示を求め、それを集計することを言います。

**表決**とは、議員が議長の採決に応じて、賛成・反対の意思表示をし、議会の意思決定に参加することを言います。表決には、起立によるもの、投票によるもの、異議の有無の確認のみを諮る簡易採決の方法があります。

※過半数で議決すべき場合には、議長には表決権がありません。

(備考:○…賛成 ×…反対 -…表決権なし)

	件名	賛否の意思表示										議決結果		
		小川	児玉	瀬戸山	牧原	西園	泊	前田	上園	宮地	田之畑			
臨時会	令和4年度補正予算	一般会計(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
		<b>解説</b> 一次産業資材等支援交付金事業などを含む1億2409万円を増額し、総額63億5509万円としました。												
9月議会	条例	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
		職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
		<b>解説</b> 非常勤職員の育児休業の取得要件緩和などを決めました。												
	令和3年度決算	一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
		国民健康保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
		介護保険事業(保険事業勘定)特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
		介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
		後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
	令和4年度補正予算	水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
		一般会計(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
		国民健康保険特別会計(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
		介護保険事業(保険事業勘定)特別会計(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
		介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	その他	後期高齢者医療特別会計(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
		過疎地域持続的発展計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
<b>解説</b> 地方特定道路整備事業負担金(永吉高山線)を4年度の計画に追加することを決めました。														
陳情	岩弘中地区の道路整備に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択	
	意見書	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
臨時会	専決処分	専決処分の承認(令和4年度一般会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
	令和4年度補正予算	一般会計(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	

# 一般質問

# 町政を問う

## 一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずさることです。

単に疑問をはらし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動です。

本町議会の質問時間は、質問と町長等の答弁をあわせて1人60分以内となっています。

### 上園 ミキ (9 ページ)

- 学校の樹木等、点検したか
- 福祉バスの購入はいつか

### 児玉 勇治 (10 ページ)

- ふるさと納税の活用事業は
- 部活動に携わる教職員への取り組みは

### 小川 香織 (11 ページ)

- 戦略課の設置と人員配置及びビジョン策定
- マルマリンの今後の計画・町の事業計画に対する考え方

### 西園 貞美 (12 ページ)

- 街灯修繕は町内業者の活用を
- 廃船・放置船の対策は

### 瀬戸山 譲一 (13 ページ)

- 一般財源の確保策は
- 積算価格を提示してるか

### 宮地 利雄 (14 ページ)

- 国葬に対し、県から通達などあったか
- 買い物支援の実績は

※掲載内容については、質問者が質問と答弁を要約し、東串良町議会広報広聴常任委員会が編集したものです。



うえぞの  
上園 三キ 議員

# Q 学校の樹木等、 点検したか

# A 目視やドローンにより 調査した

**上園** 文科省から学校の設備点検の通知が来たと思うが、安全性の確認はされたか。

**教育長** 8月9日に曾於市内の学校において、校庭のイチヨウの大木の枝が折れ、作業中の校長が下敷きになり、死亡するという事故が発生した。翌日の10日に、町内全ての学校の樹木について、目視による点検調査、ドローンによる空撮を行った。

**上園** 点検結果を尋ねる。

**教育長** 小枝が折れている樹木もあり、立入禁止等の緊急措置を施し、子どもたちの安全確保を図るよう学校に指導した。今回、各小中学校の樹木を剪定するための予算を計上した。

**上園** 建物も調査したか。

**管理課長** 長寿命化計画のつとり、調査済みである。耐震も耐震計画に基づき検査を行っている。

**上園** 建物の軒下はどうか。

**管理課長** 年一回の学校訪問時に、学校の管理職及び事務官と軒下等の確認をしている。6月に柏原小学校の体育館の

軒下が劣化した箇所があり、修理した。

**上園** 植樹木は、記念樹として植えられたものが多いか。

**管理課長** 池之原小学校のケヤキ、イチヨウは、学校の設立後に植えられたものと認識している。全学校の樹木が記念樹かどうかは、把握をしていない。

**上園** 行政が管理する設備や樹木等の点検はしているか。

**町長** 庁舎や公共施設の設備点検は、年間の業務行事として実施している。

公共施設の樹木の点検は、随時職員が目視確認し、可能な範囲で剪定作業を行っている。職員による作業が困難な場合は、業者へ発注している。

**Q** 福祉バスの購入はいつか

**A** 令和5年度以降

**上園** 福祉バスの購入について尋ねる。

**町長** 更新の時期が来た場合は、新規購入を含め、検討したい。

**上園** 更新時期はいつ頃か。

**町長** 令和5年度以降だろうと思う。

**上園** 同じか。

**町長** 大きめのバスと小さなバスも並行して購入できたらいいなと思っている。

**Q** 複合施設の進捗状況は

**A** 関連予算の計上は年明けに判断

**上園** 複合施設の構想の進捗状況は。

**町長** 令和5年度の当初予算に基本計画、基本設計業務委託関連予算を計上するかを年明けに判断したい。

**Q** 放置船の移動はできないか

**A** 本年度協議したい

**上園** 5年前に住民から苦情があり、委員会にて調査した。

解決した船もあったと聞いたが、今も放置船がある状態である。町でなんとかできないか。

**町長** 平成29年7月に国、県、町による放置船舶検討委員会を発足し、放置船舶解消の取組を行っている。

具体的には、各関係機関合同による船舶所有の調査を実施し、所有者が特定された船舶は、撤去勧告を実施。所有者不明の船舶は、関係者への聞き取り調査、広報紙による啓発及び看板設置などによる対策を講じてきた。

県大隅地域振興局と放置船舶について共通認識を図っている。今後も引き続き、漁協及び各関係機関と連携を図りながら放置船舶の解消に向けた取組に努める。

**上園** 見えないところに移動はできないか。

**町長** 放置船舶の移動については、本年度の検討課題でも議題として協議していきたい。

# Q ふるさと納税の活用事業は

# A 物産館多目的広場など整備



こ だま けいご 議員  
児玉 勇治

**児玉** 納税者の期待に応えるためにも、本町独自の商品開発にも力を入れ、ふるさと

物産館多目的広場整備事業	約1800万円
有機堆肥センター機械購入事業	約1700万円
町内案内標識設置事業	600万円
奨学資金貸付事業	600万円
電子黒板等購入事業	約500万円

**児玉** 令和3年度のふるさと納税は、過去最高の約11億6800万円であった。この額から諸経費を引いた残金と活用事業は何か。  
**町長** 関係諸経費を除いた残金は5億2960万6000円である。  
令和3年度は、ふるさと応援基金から1億4100万円を繰り入れて業務を実施した。主な充当事業は、次のとおり。

**教育長** 剣道など運動活動部が8つ、文化活動部が吹奏楽部の1つである。女子バレーボール部は、部員数が少なく、運営が困難なため、1学期中

**児玉** 中学校にはいくつ部活動があり、教職員が1週間のうち、部活動にどれぐらい携わっているか。  
**教育長** 剣道など運動活動部が8つ、文化活動部が吹奏楽部の1つである。女子バレーボール部は、部員数が少なく、運営が困難なため、1学期中

**Q** 部活動に携わる教職員への取り組みは  
**A** 教職員の意向を尊重した体制づくりを進める



物産館前に多目的広場を整備

納税寄附金が増額することを期待する。

**児玉** 部活動は勝敗が全て

**教育長** 部活動は、生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構築や生徒の多様な学びの場である。  
休日の部活動の指導を希望する教師に対して、その意向を尊重し、兼職兼業ができる体制づくりも今後進めていく。

**児玉** 国は令和5年度予算の概算要求に部活動の地域移行へ80億円を盛り込み、休日は、教職員の指導ではなく、人材バンクの設置や指導者養成の講習を受けた人に指導移行する。そして将来的には、平日の部活動についても学校から切り離す検討があったが、教職員の中には、部活動をしたくて教職員を目指した人もいると思う。今後、部活動に携わる教職員に対して、どのような取り組みを考えているか。

に廃部が決まったと聞いています。  
教職員が1週間に部活動に携わる時間は、最大で24時間程度ではないかと思料している。

ではない。友達や先生とのつながり等、いろいろなことを学べる場でもある。問題点はいろいろとあると思うが、教職員の意向を踏まえて良い方向に進むことを期待する。

【その他の要聞】  
学校点検について、今年8月に落木による死亡事故が曾於市の高岡小学校で発生した。これを受け、校内安全点検が実施され、学校側から指摘された安全面に不備等のある点については、即対応をしてほしい。また、子どもたちや教職員の生命を守り二度とこのような悲しい事故が起こらないよう要望しました。  
※内容については会議録をご覧ください。



おがわ かおり 議員

# Q. 戦略課の設置と人員配置及びビジョン策定

## A. 現時点では考えていない

**小川** 深刻な少子高齢化と人口減少社会を迎える中、持続可能な社会保障制度と経済ビジョン策定と評価、子育て支援、介護支援、税負担、地域包括ケア、生活困窮者、子育て・若者世代に対する支援など課題は多様化しており、その対応も含めた取り組みと地域生活課題の解決が喫緊の課題となっている。

そこで専門職として事業評価や抜本的課題解決に向けた提案などを行う課の設置や雇用が必要ではないか。

**町長** 各種福祉計画に基づき、各種施策に積極的に取り組んでいる。専門の課の設置あるいは専門的な協議会を設置することは今のところ考えていない。

**小川** 研修の中で社会保障、社会保険制度の改革のポイントとして、世代間だけでなく、世代内の公平が掲げられ、子ども、若者、貧困格差に関する対策を優先的に検討する必要性について学んできた。福祉は、子ども、若者にも重点を当てなくてはならず、

子ども政策は社会全体の問題である。施策に伴う法改正や法整備も行われることから、本町においても国の示す指針に速やかに対応する必要がある。そのための専門の課や部署の配置も検討し、町民の意見を集約した政策や事業反映ができないか。

**町長** 子どもたちに対することは満遍なく行っていると思う。声等があればあげてほしい。

**Q** マルマリンの今後の計画、町の事業計画への考え方は

**A** 戦略課を新たに設置する必要はないと考えている

**小川** マルマリンの今後の計画も含めた町のPR戦略やふるさと納税など、本町における事業計画に対する考え方や取組について。

これまで本町の歳入を支えてくれた志布志石油備蓄基地にかかる固定資産税は年々減額し、脱炭素の世界的な潮流

や国内石油製品の構造的な需要減退を踏まえ、石油精製業者による精製設備能力削減や製油所閉鎖の動きが続いている。本町においても、今後規模削減や施設機能の停止について、懸念しなくてはならず、安定した収入の確保に早急に対策を講じる必要があると思う。

そこでふるさと納税での寄附額を増額するために、戦略的に事業を展開し、本町独自のプライベートブランドの開発に力を入れることは、大変重要な案件であると思う。開発には市場調査や消費者ニーズの探索、企画立案、スクリーニング評価など多岐にわたる調査が必要になっており、工程も必要。つまり専門的に取り組んでいただくことが重要である。

**企画課長** 企画課は、観光PRやふるさと納税の業務を精いっぱい取り組んでいる。

企画課を分けて戦略課を新たに設置する必要はないと考えている。



マルマリンの今後の計画は

### 【その他の質問】

職員の人員配置、派遣、専門性を含めた町の考えについて質問しました。

※内容については会議録をご覧ください。

# Q 街灯修繕は町内業者の活用を

# A 業者へ確認したい



にしその 西園 さだみ 貞美 議員

**西園** 町内全域の避難誘導灯（街灯）は定期的に点検、整備をしているか。

**町長** 町内には、150基のLED照明灯が設置されている。このLED照明灯は年に3回程度、職員が定期的な点検を行い、不点灯箇所については、随時修繕を行っている。修繕業者が宮崎市内の業者であり、出張旅費等の観点からもある程度まとまってから修繕を行っている現状。

**西園** 町民から連絡があり、街灯を確認した。町民運動場の通り、馬越から柏原線の通りに明かりが点いていないところがあった。

業者が宮崎県の業者では移動費が高くつくので、地元の電気工事業者をお願いできないか。

**総務課長** 町内業者に確認し、できるのであれば調整していきたい。

**西園** もう一回その辺りを確認してもらいたい。1基が100万円もする街灯である。もう少し大事に、無駄のないように定期的な点検をお願い

したい。

## Q 廃船・放置船の対策は

## A 関係機関と連携し、解消に取り組む

**西園** マルマリン近くと河口のほとりにある廃船について、どのような対策を講じているのか。

**町長** マルマリン周辺は、県、町がそれぞれ管轄しており、河口付近は、国の管轄となっている。毎年若干の増減は生じているが、漁協にも協力をいただき、無断で公有地に船舶を置かないよう呼びかけている。

マルマリン周辺においては、観光客誘致の対策も講じているが、放置船舶は環境美化の観点からも重要な問題だと認識している。今後も引き続き漁協及び関係機関と連携を図りながら放置船の解消に向けて取り組んでいきたい。

**西園** 放置船が現在63隻あり、そのうち40隻が不明で、23隻は持ち主が分かっている。国、県、町含め、どうい

対応をしているのか。

**農林水産課長** 所有者の分かる船舶等もあるので、各関係機関と連携を図りながら、少しでも早く撤去してもらえようという対策を強化していきたい。

**西園** 観光に力を入れているマルマリンの近くに放置船があるのは非常に見苦しい。対策はないか。

**町長** 漁協と県とも話をしてみたい。

**農林水産課長** 県の所有地にある放置船舶に撤去の看板を貼るといった連絡等については、随時町にも連絡が来ている。

来年度の2月の検討委員会にて、再度共通認識を図っていきたいと考えている。

**西園** 観光に力を入れている地域である。廃船、放置船があったら非常に見苦しい。やぶの中に隠れて見えない船もある。対応してほしいと思う。



草木で覆われた放置船



せとやま じょういち  
瀬戸山 一 議員

# Q ■ 一般財源の確保策は A ■ 国・県へ要望活動、 補助事業を模索

**瀬戸山** ※決算カードの存在を  
認知し、今後活用する意向が  
あるか。

**町長** 本調査内容を踏まえ、  
歳入構成や歳出構成を分析し、  
翌年度の予算編成に活用して  
いる。

**瀬戸山** 一般財源の確保に向  
けてどのような策を考えてい  
るか。

**町長** 国、県への要望活動、  
各種事業を実施するための補  
助事業の模索、地方交付税、  
町債の有効活用を行っている。

特に建設事業等を実施する  
にあたり、過疎対策事業債や  
緊急防災減災事業債などは、  
町に有利な財源であり、今後  
も計画的に活用したい。また、  
ふるさと納税も一つの財源と  
した位置づけを行い、有効活  
用している。

## ? 決算カードとは

地方財政状況調査の集  
計結果に基づき、市町村  
ごとの普通会計歳入・歳  
出決算額、各種財政指標  
等の状況について、団体  
ごとに1枚のカードに取  
りまとめたもの。

**Q** 積算価格を  
提示しているか

**A** 見積書による積算価格  
は提示していない

**瀬戸山** 建築工事で公示され  
ている県単価以外の資材が用  
いられたとき、その積算価格  
は提示されているか。

**町長** 見積書による積算価  
格の提示は、現段階では行っ  
ていない。

近隣市町の状況等を確認し  
たところ、鹿屋市は記載本及  
び見積書による積算価格の提  
示を行っていた。ただし、そ  
の他の多くの町では、物価本  
など記載ページの提示はある  
ものの、見積書による積算価  
格の提示は行っていない。  
今後、見積書による積算価  
格の提示が必要となれば、近  
隣町の動向も注意しながら慎  
重に検討していきたい。

**Q** 福祉行政への町長の  
リーダーシップは

**A** 住民福祉の向上に  
努めたい

**瀬戸山** 南大隅町の社会福祉  
協議会の多様な活動が載せら  
れた資料を読んだ感想を尋ね  
る。

**町長** すばらしい事業を  
行っている。我が町も、また  
それなりの事業を行っている。  
社会福祉協議会が地域見守  
りネットワーク支援事業をさ  
らに充実させたいという強い  
意向があれば、活動費の補助  
金の見直しなどを含めた検討  
を進め、さらなる活性化を後  
押しし、本町の進める地域包  
括ケアシステムの構築をさら  
に推進したいと考えている。

**瀬戸山** 今後の福祉活動全般  
に町長がリーダーシップを取  
って、包括支援センター、  
それから社会福祉協議会を取  
りまとめて、うまくリードし  
ていく。それが本来の姿じゃ  
ないかと思うが、その辺の認  
識、心構えを尋ねる。

**町長** 今後とも地域包括支  
援センターは、社会福祉協議  
会とさらなる連携を図ってい  
きたい。

福祉行政については、健康  
で生きがいとふれあいのある  
まちづくりを基本目標に掲げ  
ている。高齢者をはじめ、障  
がい者、母子、父子、児童等  
の養護を必要とされる町民の  
方々ができる限り住み慣れた  
家庭や地域の中で自立した生  
活を送れる。そして、健康で  
快適に安心して暮らせる環境  
づくりを推進するため、各種  
福祉サービスの事業の施策を  
実施し、住民福祉の向上に努  
めていきたい。

## 【その他の質問】

農業危機と食糧危機について  
質問しました。  
※内容については会議録をご  
覧ください。

# Q. 国葬に対し、県から通達などあったか

## A. 通達や指導などきていない



みやじ としお 議員  
宮地 利雄

**宮地** 安倍元首相が亡くなったが、岸田総理は早速国葬をやると言った。しかし岸田総理自身は、国民に弔意を要請するものではない、と言っている。県からこの件で何らかの通達などが来ているのか。

**町長** 県からの通達や指導事例は来ていない。半旗や黙とうなどを行うかは、今のところ考えていない。現在、役場庁舎周辺は、工事の関係で、掲揚台が撤去されており、半旗についても不可能な状況である。

**教育長** 現時点において県教育委員会から通知などは届いていない。

**Q** 買い物支援の実績は

**A** 7世帯を支援

**宮地** コロナ感染により、自宅療養が必要な町民への、買い物支援はどうだったのか。

**町長** 7世帯、22名に対し職員が1食500円以内で買い物をし、配達する支援を行った。また、食料以外にも

紙おむつ、マスク、消毒液など必要な生活用品を提供した。

**Q** 市場で売れない事態になるのでは

**A** 県経済連とも連携し、適時適切な対応を図りたい

**宮地** 今後、消費税を納めない農家の牛は、消費税分を値下げした額でしか入札しない、市場で売れないという事態になってしまっているのではないかと。

**町長** 購入者が本則課税の事業者である場合、取引相手が適格請求書発行事業者でなければ、消費税の仕入れ控除はできない仕組みとなっており、購入者の負担が増加することになる。

畜産農家への制度周知及び説明は、近隣市町も同様に、現在のところ、具体的には決まっていない。関係機関と協議する必要がある。

今後、県内の家畜市場を運営する県経済連とも連携を図

り、適時適切な対応を図っていききたい。



畜産農家へのインボイス制度が懸念される

**Q** シルバー人材センターは、消費税を負担できる財源がないが

**A** インボイスへの対応を検討したい

**宮地** 公益法人であるシルバー人材センターの運営は、利益を出さないのが原則となっており。だから、消費税を負担できる財源を持っていない。

結局同センターで働く人は、そのセンターが発注する仕事を請け負う個人事業者という関係になる。だから消費税を払えというのが国税局の判断

である。

**町長** 町シルバー人材センターでは、他のセンター同様発注者からの事務費を来年4月1日より、現在の10%から14%に引き上げて、これは案

だが、インボイス制度に対応したいとの回答であった。インボイスへの対応策については、今後検討していきたいと考えている。

**Q** 霊感商法の被害の訴えがあるか

**A** 相談はない

**宮地** 統一教会などによる霊感商法の被害の訴えが来ているか。

**企画課長** 現在、鹿屋市、東

串良町、錦江町及び南大隅町の4市町で消費生活相談業務の広域的対応をしている。鹿屋市消費生活センターに問合せたところ、いわゆる霊感商法と言われる相談については、平成28年度以降、同センター管内で15件、東串良町内においては0件という回答であった。



写真①



写真②

## 台風14号の被害甚大

# 公共施設の 復旧予算を承認

10月21日に開催した臨時会では、承認1件、補正予算1件を審議し、全会一致で可決しました。専決の内容は台風14号により被害のあった公共施設の復旧予算、補正予算の内容は第4次えがお支援給付金事業等の予算です。

### 専決予算

9月18日に襲った台風14号により、町の各公共施設も被害を受けました。

特に池之原幼稚園は、建物の外壁が剥がれるなど被害が大きかったです（写真①・②）。公共施設の復旧に係る予算（2376万円）は、10月4日付で専決され、今回、議会はその内容を承認しました。被害内容は次のとおりです。

建 物	被害の内容	補正予算額
池之原幼稚園	外壁・屋根の一部損壊	500万円
役場庁舎	雨よけひさし等の破損	340万円
各住宅	雨戸・屋根等	280万円
役場別館事務所 (土地改良区)	屋根・シャッター等一部損壊	210万円
有機堆肥センター	屋根・シャッター	206万円
その他、設備等含む	雨もり、街路灯、 カーブミラー破損	840万円

### 補正予算

**非課税世帯・課税世帯にそれぞれ5万円給付**

非課税世帯には、国の事業において1世帯あたり5万円が給付されます。一方、課税世帯には、国からの支援給付金がないため、町単独の事業として、今回1世帯あたり5万円を給付する予算を決めました。

それぞれの事業の予算等は次のとおりです。

◆**非課税世帯対象  
価格高騰緊急  
支援給付金**  
予算額 **7622**万円

●**目的** 物価・賃金・生活総合対策として、電力・食料品等の価格高騰を支援するものです。

●**給付額** 1世帯 5万円

◆**課税世帯対象  
第4次えがお  
支援給付金**  
予算額 **1億277**万円

●**目的** 前述の国の事業（価格高騰緊急支援給付金）の対象とならない世帯に支援するものです。

●**給付額** 1世帯 5万円

### 介護施設や 保育所へ 物価高騰支援

予算額 **1682**万円

コロナ禍において、原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けた介護施設や保育所の負担の軽減を図るための物価高騰対策支援事業補助金関連の予算を決めました。

#### 介護施設への支援予定額

施 設	支援予定額
ルーピンの里	713万円
明光園	71万円
南の太陽	359万円
あじさい	422万円
ohana	2万円
おおすみ	161万円

#### 保育所への支援予定額

保育所	支援予定額
青葉保育園	29万円
豊栄保育園	15万円
柏原こども園	16万円
なないろ保育園	2万円

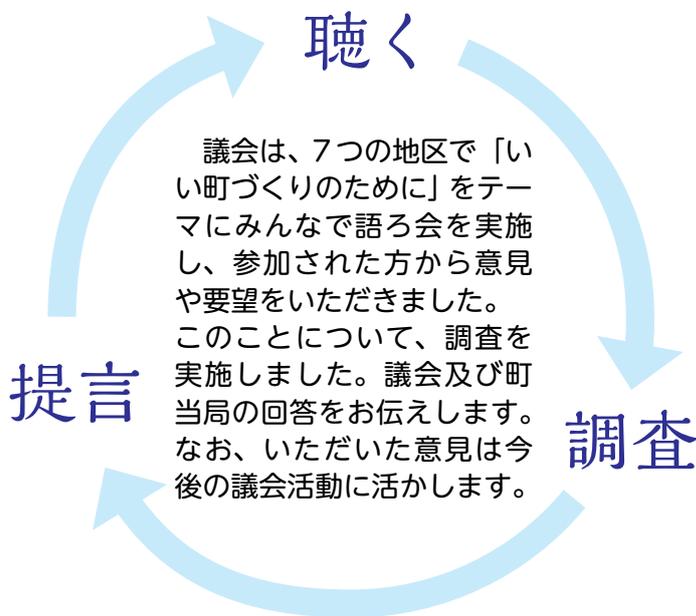
## 備蓄基地

### 地震や津波が発生したとき、備蓄基地は大丈夫か。

**町当局** 志布志基地へ確認し、得られた回答では、地震を伴う津波を想定したシミュレーション（種子島東方沖地震 最大震度6弱・最大津波高7.37m）を実施。結果は、津波によるタンクの流出はないとのこと。

また、タンク地盤は、強固な砂杭に支えられ、操業に影響のある建屋も耐震補強を施しており、地震による影響はないとのこと。

**議会** 委員からも様々な指摘があったので、出された意見を今後の調査で活かしていきたい。



## 環境整備

### 豊栄保育園東側の水路の安全対策を。

**町当局** 子どもたちが中に入り水遊びができるつくりとなっているため、進入防止柵など作られていない。深さもないので溺れる危険性もない。

### ホテルが乱舞する水辺環境づくりを。

**町当局** ホテルの生息できる環境条件がない。

**議会** 水路が作られた初期の目的や水辺環境を考慮すると継続的に適切な美化作業・整備が必要である。



## 防災無線

### なぜ屋外は放送されないのか。

**町当局** うるさいとの声もあり、定時放送は屋外には流していない。緊急時は屋外放送をしている。

### 2回放送してほしい。

**町当局** 日時を含む内容の時は、繰り返し放送している。その他は1回のみ。

### 女性の音声で放送してほしい。

**町当局** 賛否あり。以前、女性の音声に対し、気持ち悪いとの声があった。

**議会** 屋外放送も妥当だと思うので検討してほしい。



# みなさんの声を

## 防災

ダムの管轄が農林水産省から国土交通省に移管されたが、何が変わったか認識しているか。

**町当局** 高隈ダム、輝北ダム、荒瀬ダムは、農林水産省の管轄、治水については、国土交通省の管轄である。

### 議会

・蛇行、川の角度がきつところは危険。  
・高隈ダムの放水のときは、4時間前にサイレンを鳴らしてほしい。  
⇒警報は到着の15分前に鳴る。周辺地域では、車で放送している。



唐仁地区は降水時よく冠水する。排水作業はいつそのことオートメーション化すべきではないか。

**町当局** オートメーション化は事業費が高いので難しいのでは。(国の管轄)

ごみ等で完全に閉められないと洪水になる。どの方法でも人を配置しないと防げない。

## 公民館

建設に際し、財政的補助はないのか。

**町当局** 町単独での補助はない。宝くじコミュニティ事業には、上限はあるが、5分の3の補助がある。あとの5分の2は地域負担。

**議会** 住民自治の意識を高めることは大事。集落の存続、文化伝承、地域コミュニティ形成等果たす役割もある。防災上の避難所にもなる。

エアコン設置の補助はできないか。

**町当局** これまでに自分たちで設置したところとの公平性もある。政治的判断も必要。

Q. 補助はあるのか。

A. 町単独での補助はない。交付金の増額を検討する時期になっているのかもしれない。

## 振興会

加入者・未加入者の負担を平等にしてほしい。

**町当局** ごみの搬出では、振興会のごみステーションを利用するときは、振興会のルールに従ってくださいと伝えている。また、振興会に加入した時のメリットも伝えている。振興会に入っていない時は、400円衛自連会費を集めている。

集落の再編・合併を。

**町当局** 10戸未満の振興会が16ある。振興会の合併が進めばとは思っている。

次のページにつづきます。

## 航空防除 (水稲)

水稲航空防除が通学時間と重なる。保護者の中では心配している声があり、放送をしてほしい。

**町当局** 散布開始は、午前5時30分頃に有人ヘリが離陸し、最優先に全ての主要道路沿いを散布し、通勤・通学の時間帯に飛散が発生しないよう細心の注意を払っている。

事前周知は、チラシ全戸配布、防災無線での広報、また、児童・生徒並びに保護者の皆様へ町内の保育園、幼稚園、小中学校を通してお願いしている。万が一、飛散した場合については、緊急病院の体制も構築している。

取組主体は東串良町水稲航空防除連絡協議会である。

近年は有人ヘリ1機及び無人ヘリ4機で実施しており、環境負荷軽減を図る観点から、試験的にドローンを活用した部分的な防除も実施している。



無人ヘリ4機で散布を実施

## 航空防除 (松林)

池之原小学校の遠足を4月末にした際に、松くい虫が落ちてきた。散布の時期を早めに検討してほしい。

**町当局** 松くい虫の航空防除は、県と協議の上、志布志市、大崎町と合同で実施している。松くい虫が成虫になって松の木から出てくるのが5月末～7月頃なので、例年、散布は6月初めに行っている。

マツケムシは、マツカレハという「ガ」の幼虫である。近年、マツケムシ被害は多くなかったが、今年は、5月に円山公園付近で大量に発生した。キャンプ場付近まで食害が広がったため、地上防除を実施した。マツケムシは4月～6月頃と8月～10月頃に発生する。

巡回を強化し、早期発見に努め適期防除に取り組む。

マツケムシ▶



今年5月に地上防除を実施

# みなさんの声を

## 農業 (水不足)

パイプラインの容量不足で、区域によって農業用水が確保できなくなっている。このことが常態化しているので早急に手を打ってほしい。

**町当局(建設課)** パイプラインの水不足については、WCS作付けによる用水のかけ流しが原因の一つと考えられる。耕作者に対し、かけ流し防止の周知徹底を図っていく。

また、用水を管理する林田土地改良区と協議し、令和5年度パイプラインの水不足について調査を行う。

**町当局(農林水産課)** 平成13年宮崎県で発生した口蹄疫により国産稲わらの需要が高まった。町内ではWCSが作付けされ、当初、約60aからスタートし、現在は約300haで畜産農家、耕種農家ともに定着し、転作奨励金でも、なくてはならない転作物として確立されている。

水稻と生育期間が重複することから、現在のパイプラインの能力では、農業用水の確保が困難である。今できる農林水産課の対策としては、水の垂れ流し防止の意識高揚を図り、ブロックローテーションにおいて、水を必要としない転作物の普及と推進に努めることである。

近隣町から畑地かんがい用水の導入はできないか。

**町当局** 肝付町、大崎町からの畑地かんがいについては、両町共に国営事業が終了していることから導入は難しい。また、畑地かんがいを必要とする推奨作物の確立もできていないので国への要望等も難しい。

## 農業 (区画整備)

農業は大型機械化している。区画整理事業での見直しはできないか。

**町当局** 区画整理を実施した地区の再整備については、更なる農地の集積化や集団化を図るため、再整備により生産基盤条件を改善することが必要と地元(受益者)より要望があり、実施条件を満たせば、事業の導入は可能だと思われる。

## 町営プール

町営プールは改修するのか。

**町当局** 昭和43年に建設され、54年経過している。当初は、柏原小学校のためのプールだった。

改修するのか、遊べるスペースにするのか、取り壊すのか検討する。今後、協議して、令和5年度に予算計上。

**議会** 海水浴場の検討を。

⇒ もともと遊泳禁止になっている。県が海浜を管理している。要望があったことを受け止める。



## 和牛共進会 審査会場・PRエリア 共に大盛況

### 1. 調査日

令和4年10月8日(土)

### 2. 場所

霧島市牧園町

### 3. 派遣議員

小川 香織	児玉 勇治
牧原 完治	西園 貞美
泊 重巳	上園 ミキ
宮地 利雄	

### 4. 目的

52年ぶりに鹿児島県で開催される「全国和牛能力共進会」に、本町から代表牛が1頭出場するとともに、本町の特産品等も展示販売される。また、大会会場では、鹿児島県PRエリアや道府県PRエリア等も設けられている。これらを視察し、今後の産業振興や観光振興の政策のヒントやアイデアを調査する。

### 5. 報告

#### (ア) 本町代表牛の審査

大会3日目(10月8日)は、本町代表牛が出場する第6区の審査があった。共進会最終比較審査には、全国各地の審査を勝ち抜いてきた選りすぐりの代表牛が出そろっていた。審査会場には、審査の様を観覧し、応援したいという方々が大勢駆け付けており、審査会場への入場には長蛇の列に長時間ならばなければならなかった。

こうした中、審査会場への入場は諦めざるを得なかったが、できることなら、審査会場の雰囲気を実際肌で感じたかった。審査の様子は、インターネットで中継されていたので、鹿児島県代表が審査を受ける様子を応援できた。

9日の最終審査・等級決定で、本町代表牛が出場した「花の6区(総合評価群)」は、見事首席に輝いた。

#### (イ) 本町特産品の展示販売

商品は、和菓子、洋菓子、豚みそ、しょうゆ、焼肉のたれ、オリジナル焼酎、Tシャツ、帽子等が販売されていた。ふくれ菓子は試食販売があった。購入者への特典として、1000円以上購入者にはくじ引きで景品があった。また、町のPRとしてパンフレットやピーマン3個が添えられていた。



全共の会場にて町の特産品を販売

#### (ウ) 鹿児島県及び道府県PRエリア

鹿児島県PRエリアでは、各市町村からそれぞれ工夫された商品が展示販売されていた。また、観光PRを行っているブースもあった。

道府県PRエリアでは、和牛をメインにPR活動がされていた。パンフレットの配布では、トートバッグに入れて無料で配布している所もあり、来場者も手を伸ばして受け取っていた。また、プレゼント付きもあり、ペン、タオル、箸、米、塩、マスク等々が入っていた。



来場者で賑わう道府県PRエリア

### 6. 感想と提言

● 短時間ではあったが、全国和牛生産農家の集会に参加でき、その産業への関係農家の意気込みや、取り組みのまじめさが感じられた。優れた成績に驚くと同時に、価格の低迷や肥料・飼料・燃料などの価格が急騰する一方で、農家の苦勞がしのげられた。

● コロナ禍でも十分な対策や告知・企画運営により、観光・産業の更なる振興や発展が期待できることが分かった。また、町や町民がどのようなPRを望んでいるのか検討した中で、企画や予算計上について審議する必要がある。

● トートバッグにパンフレット等を入れて配布すると誰もが受け取っていた。本町も催事でパンフレットを配布するのなら、トートバッグに本町独自の商品を入れて配布すれば、良いアピールになり、本町に興味を持ってもらえると思う。

● 本町ならではの特産品(特に加工作品)の必要性を感じた。町民にアイデアを募集し、東串良町にしかない一品を作り出してほしい。

このコーナーは、議員個々が調査や研修等に参加した内容を報告するものです。

### 市町村議会議員研修(3日間) コース 社会保障・社会福祉

【報告者】 小川 香織

調査日 令和4年7月11日(月)～7月13日(水)

場所 全国市町村国際文化研究所

研修目的 現在の状況や制度を理解し、講義や事例などを通して、地域における福祉を取り巻く諸課題について考える。

研修の概要報告 子育て支援、介護保険、地域医療、生活困窮者支援、地域共生社会をテーマに3日間の研修を受けた。

現在、「2025年問題」や「2040年問題」等、かつて経験したことのない少子超高齢・人口減少社会に対応した社会保障・社会福祉の見直しが求められている。

1963年と2021年を比較した場合、100歳以上の高齢者の推移は、約565

倍に増加し、そのうち約88%が女性であり、人口減少関連では、1985年には33世帯に1世帯であった高齢者の単身世帯が、2040年には10世帯に1世帯の割合を見込み、晩婚化、晩産化、非婚化に加え、2020年度の50歳時の未婚割合も男女ともに増加し、今後も生涯単身世帯の増加が全国的に見込まれると予測される。

施策提案 本町では、定住促進事業により、人口減少が緩やかだと聞かすが、支える割合が国内で減少すれば、人材の流出や人材確保の困難、支援多様化の検討必要性に対する、社会影響や社会福祉、社会保障に係る財政の確保、財源負担の自治体分の増加など多岐にわたる問題が懸念され、現役世代への負担増や必要性が問われていても、サービス事業の終了や縮小について検討しなくてはならない状況が今後は考えなくてはならなくなつた時、例えば、社会保障改正は国民全体に影響し、本

町における支援体制や事業評価においても現状維持や少しの改善では対応が困難になるのではと予測される。そのため、さらなる予防、介護分野での保険者努力支援制度の抜本的強化や介護のインセンティブ、疾病、介護予防のエンデンスを確認し、蓄積するための実証事業の展開等を行い、新に必要な事業の優先順位を考え、精査することで、本町において、継続した福祉の充実が展開できるのではと考える。専門職として事業評価や抜本的課題解決に向けた提案などを行う課の設置や雇用などの必要性を問い、健康維持や生きがいづくり、生涯現役を掲げた、働く場の確保等、官民一体となった検証や健康寿命の増進に係る事業評価の強化、見直しにより、最後まで自分らしく東串良町で過ごすことができ、また福祉に係る財政状況の改善にもつながるのではないかを説いていく。

### 財政基礎研修レベルI 世界一わかる自治体財政編

【報告者】 瀬戸山 譲一

調査日 令和4年7月19日(火)～7月20日(水)

場所 リファレンス 駅東ビル

研修報告 「財政論は難しい、分かりにくい。」と言われる。そこで今回は3段階のうち初歩的レベルIで財政論の総論、概論からの講義であった。

トピックスのひとつに「決算カード」なるものを紹介された。それは総務省のホームページに全国市町村の財政状況が網羅されているもので、ここ東串良の良好な財政状況を参加者全員で確認してもらいチヨツと優越感！所得率は県でもトップであることも紹介させていただいた。やはり、問題は「一般財源」の話。

例えば柏原の「農業改善センター」は農業に資するイベント以外は基本使えない。備蓄交付金は災害対策の建物、道路以外には使えない

制約された不便さがあり、なんでも使えるのが「一般財源」。この「一般財源」でやり繰りした事業は何ら制約は受けない利便さがある。つまり、この「一般財源」の確保をどのように執り行い、運営していくかが各公共団体の永遠のテーマであるともいわれた。ここ東串良はもともと高い所得率を維持していくことと、ふるさと納税をさらに押し進め、自由に使えるお金作りを目指すことが肝要かもしれないね。

さらに、現在、各公共団体に問題があるのは国などからの支援を受けて建物など、つまり箱物を造ったはいが、その維持運営にはその町の「一般財源」から充当せねばならずその運営に苦労している公共団体が多々見受けられるということも指摘された。そこは住民の皆さんとの十分な協議、そして理解があつて初めて進められるべきものであるとも述べられた。拝聴に値する講義であった。

※おことわり※  
報告者本人が執筆した原文を、そのまま掲載しています。

# 食糧危機を憂う

文 瀬戸山 譲一

「Think Globally Act

Locally」これは友人から提起された英語の慣用句。日本語に意訳すると「世界を觀て足元で動け」という意味らしい。更に具体性を持たせると、世界の動きを機敏に察知し、そこから自分たちの足元の問題を見出しその解決を図ることだと解釈する。

例えば、最近マスコミで騒がれるようになった「食糧危機」。どこか遠い世界の出来事のように思っていたが、今世界各地で頻発し、深刻化し始めている。まだ日本はそのことが顕在化せず、に多少の食料品高騰で収まっているが自給率の低い我が国がこの状態をいつまで維持できるか大いに疑問である。

要するに我が国の農業

の足元もかなり危機的状況になりつつあることを認識しなければならなくなった。農業労働人口の高齢化で農業生産の低迷に始まり、肥料の高騰、飼料の高騰、燃料の高騰、ひいては大元である作物の種子まで不足し始めている。危機打開に間に合わないのではと早急な対応を促す人もいる。

先ず肝属4町でも地域連携して行動を起こす時が来たようだ。策は色々ありそうだ。



## 東串良町制施行90周年と

### 議会の今昔

文 小川 香織

1932年（昭和7年）10月に東串良町の町制がスタートし、2022年10月に東串良町制施行90周年を迎えます。そこで、議会だよりの今昔を振り返り、議会での出来事を記事にしました。

#### はじめに

1929年（昭和4年）の町村制等の改正により、1947年に初代東串良町議長が誕生しました。現在の議長は37代目となり、議会を代表して、議場の秩序の保持や議事の整理、議会の事務処理

等大きな責務を担っています。その後1947年（昭和22年）地方自治法が制定され、改正を繰り返して現在に至ります。議員定数は、当初18名の定数でしたが、その後、定数削減が繰り返され、現在は10名の定数で住民を代表して、地域や住民福祉の向上に努め、意見や要望を国や地方自治体の政策に反映してもらえよう提言しています。

#### 議会だよりに

1984年に東串良町議会広報紙第1号が発行されました。当初は、白黒印刷で作成され、当時議長の田之畑稔氏は、現在も議長を務めています。当時の記事のトップは、波見港内公有水面埋め立てに関する特別決議でした。次に、

平成の議会だよりを飾ったのは柏原漁港でした。当時の建設状況が表紙として飾られています。議会だよりは、議会議務局に第1号から現在発行されている第155号までが保管されています。

議会だよりを発行することで、定例会や臨時会における議会活動の内容や、町民の代表議決機関としての活動状況を町民の皆様にお知らせしています。又、町民の皆様と議会が一体となり、意見や要望を町政に伝えていきます。今後も、皆様の意見や要望を町政に反映し、町民福祉の向上に努めてまいります。今後も皆様からの御意見をお待ちしています。

### 町と議会の今昔 (1984~)

- 1932年 東串良町制施行
- 1947年 東串良町初代議長
- 1984年 東串良町議会 広報紙第1号発行



- 1989年 平成の始まり



- 2019年 令和の始まり



# QUIZ!

正解者には  
抽選で  
図書カード進呈!  
ふるって  
ご応募ください!



## 【応募方法】

- 郵便はがきに、次の事項を書いて議会事務局までお送りください。
    - ・クイズの答え
    - ・住所、氏名、年齢、電話番号
    - ・議会だよりの感想や、町政に対するご意見、議会へのご要望など  
(ひとことでもいいです。)
  - 1家族につき、1枚の応募とさせていただきます。
  - 正解者の中から抽選により、3人の方に図書カードをお送りします。
  - しめきりは、令和4年12月12日(月)です。(当日消印有効)
  - あて先  
〒893-1693 東串良町川西1543  
東串良町議会事務局
- ※なお、正解者は、本人が特定されない範囲内で掲載させていただきます。

今回の議会だよりで、表紙のメインとなっている魚の名前は何でしょうか。

- ①たい ②たちうお  
③まぐろ

## 議会だよりクイズ第20弾の答え

問題 前回の全共で、鹿児島県の成績は何位だったのでしょうか。

答え ①1位

応募総数5通、正解者5人、当選者3人に図書カードを進呈しました。(川東・50歳・女性)、(川東・11歳・男性)、(池之原、6歳、男性)

# 議会だよりに投稿しませんか

例えば

1. この町に住んで感じること
  2. 議会を傍聴して(感想等)
  3. 将来の夢
  4. 東串良町の未来図(図画)
  5. 自慢のワンショット写真
  6. イラスト(自作に限る).....など
- 1~3の文字数については、500字以内でお願いします。なお、添削する場合があります。

## 【応募方法】

東串良町議会事務局まで郵送またはメールで応募してください。(持参可)  
なお、応募者は次の事項を必ず記入してください。

住所、氏名、年齢(学校名と学年)、電話番号、匿名希望者はペンネーム

【応募先】〒893-1693 東串良町川西1543番地 東串良町議会事務局  
メールアドレス: gikai@higashikushira.com

【しめきり】令和5年1月10日必着

【注意】作品の返品はいたしません。

● 議会だより「東くしら」に採用された方には、図書カードをお送りします。

● 応募作品は、第156号(2月発行)で掲載する予定です。

投稿  
まって  
まーす!

# 輪 わ 和 わ 話 わ のひろば

Vol.37

このコーナーは、町内のあちこちの「ひろがり」や「つながり」を伝える目的で企画しました。名付けて『輪和話のひろば』です。

町民の皆さんに登場していただき、もつと議会だよりを身近に感じてほしいと思います。

また、ご一報いただければ取材に伺います。よろしくお願ひします。



パターの練習中



コースを回る  
ペアを発表中

## ゴルフ好きが集うさくら会

今回は私が会長を務める「さくら会」を紹介いたします。ゴルフが大好きな同士の集まりで20年前に結成されました。さくら会は、現在、町内外30歳〜80歳の15名で構成されています。さくら会の名称の由来は、結成当時鹿児島県出身のプロ

ゴルフファーである横峯さくら選手が最前線で活躍していたことから名づけられました。

大会に向けて、毎日練習をしているというわけではなく、大好きなゴルフを「楽しむ」ことに重点を置いています。年に6回のコンペでは、真剣に芝を読んだり、冗談も言いあったり、和気あいあいとした雰囲気です。楽しくプレーしています。

今後は、年6回ではなく、毎月集まって、ゴルフができたかなと思っています。

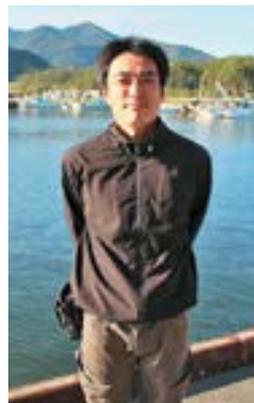
### ひとこと

ゴルフ好きが集まり親睦と健康のために頑張っています。

ゴルフ好きな人はさくら会に入ってみませんか。どなたでも大歓迎です。

(取材 西園 貞美)

## 表紙の案内



江川水産の3代目  
兄と一緒に  
水産業に励みます！



魚の種類も豊富



べ

明け方の柏原漁港には、新鮮な「魚」や「べ」が並べられ、漁協組合の人たちや仲買の人たちが集まり、魚のセリが行われていました。

仲買人である(有)江川水産の江川誠さんは「新鮮な魚の見分け方は、澄んだ目、赤いエラ、太り方を見るといいですよ！」と教えてくれた一方で、「漁師の若手が減り、魚が獲れなくなることは、自分たちの仕事なくなるといこと。若手の漁師さんが増えることを願っています。」と漁業関係者が抱える喫緊の課題を話されました。

## 編集後記

私は、開かれた議会ということで、一般質問の状況をユーチューブに載せることと、町民の皆様から有志を募り、「議会だより」を通じ議会の様子を観て、コメントをいただく議会だよりモニター制度を提案しています。議会の機

能強化に多大に貢献するものと確信しています。

これからさまざまな局面で開かれた議会に町民の皆様が積極的にアプローチしていただけることが第一歩かと考えています。

瀬戸山 譲一